

十六銀行と環境に関する覚書を締結

平成 24 年 4 月 9 日 (月)

ともに環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証を取得している十六銀行と岐阜大学が、環境保全に関する覚書を締結しました。これまで以上に情報交換を行い、環境保全のための幅広い活動と環境意識の向上を通じて、地域社会へ貢献することを目的としています。

調印式には学生サークル「three trees」のメンバーと地域科学部の学生たちも出席。この学生たちは昨年、十六銀行のISO内部監査に参加して意見交換を行いました。今後も学生たちは十六銀行の内部監査に加わり、ISOや省エネ活動等について、

意見を出し合い、交流を深めていきます。

また7月23日(月)には、この覚書に基づいて公募された「節電・省エネ啓発ポスター」の表彰式が開催されました。最優秀賞を受賞した4年生の幸協亜矢子さんは「このデザインには、若い人々が引っ張っていくことで新しい日本を作りたい、という願いを込めています」と話しました。ポスターは夏の間、構内や十六銀行の各支店に掲示されました。大学では今後も民間企業とともに環境活動の幅を広げ、社会全体の環境意識の向上につながる情報発信を行います。



研究推進・社会連携機構を設置しました

平成 24 年 8 月 1 日 (水)

既存の学部・研究科編成にとらわれない研究活動やその成果を効果的に社会に還元していくことを目的に「研究推進・社会連携機構」を新しく設置しました。

新設の「研究推進部門」と、従来の組織を再編した「知的財産部門」「産学連携部門」「地域連携部門」の4部門を中心とした構成です。「研究推進部門」では、大学の研究を把握・分析し、基礎研究から実学研究までをサポートします。また、「知的財産部門」では知的財産の管理や活用を行い、「産学連携部門」では岐阜県を中心とした東海地域の企業との連携を行

い、「地域連携部門」では地域の課題解決をするため自治体などの連携を行っていきます。さらに、従来の5つのプロジェクト研究センターを組み込み、環境科学や生命科学の研究に特化した「学術院」も新設。大学の研究を俯瞰的に眺めて戦略を定め、現代に求められる各種の研究支援を提供していきます。

記念式典では森秀樹学長が「産業界、地域コミュニティと密に連携強化し、地域や中京圏へ研究成果を還元していきたい」と話し、その後、機構の看板を除幕しました。



岐阜大学複合材料研究センターを開所しました

平成 24 年 4 月 1 日 (日)

地域企業からの相談や共同研究を通じて、地域のモノづくりに真に活用できる複合材料を開発していくことを目指し、「岐阜大学複合材料研究センター」を開所しました。これは地域の産業高度化を目指す文部科学省の事業「地域イノベーション戦略支援プログラム」に、岐阜大学が採択されたことによります。4月2日(月)の開所式では森秀樹学長が「人材の育成に努め、産業界の発展に貢献していきたい」と話しました。



平成 24 年度入学式を行いました

平成 24 年 4 月 7 日 (土)

長良川国際会議場において平成24年度入学式を行い、学部学生1,357人、大学院学生579人が入学しました。森秀樹学長は学部入学生へ向けて「勉学、自己修養に努め、悔いなき青春の時を送ってほしい」と激励し、大学院入学生には「勉学や研究に励み、その成果が明るい展望に繋がることを切望する」と言葉を贈りました。学部入学生代表の金子剛大さんは「豊かな心と深い知識や技術を身につけ、国際社会の一員としての力を育みたい」と宣誓。平成23年11月に愛唱歌となった『我等多望の春にして』も初披露されました。



「獣肉ジャーキープロジェクト」が 土木計画学公共政策デザインコンペで受賞!

平成24年6月2日(土)・3日(日)

大学の講義「地域活性化システム論～まちづくりリーダー養成講座～」のグループ演習において、学生たちが郡上産獣肉(主として猪と鹿)の販路拡大に向け、「獣肉ジャーキー」の商品化を提案しました。なじみのない獣害の問題をジャーキーとして具現化し、獣肉被害や郡上の現状を情報発信すること、また高齢化する猟師の課題解決を目指しています。

郡上のNPO法人「メタセコイアの森の仲間たち」と協働で商品化に取り組み、平成24年2月には、「携帯するジビエ」をコンセプトにしたジャーキーの販売が開始。

平成24年6月2日(土)・3日(日)には、京都大学吉田キャンパスで開催された「第7回土木計画学公共政策デザインコンペ」に参加。「携帯するジビエ」で里山保全～猪鹿(IKA)した獣肉ジャーキープロジェクト～と題して、ポスターセッションを行い、見事、土木計画学委員会賞と奨励賞を受賞しました。参加した学生は「自分たちだけでは気づくことができなかった建設的批判をいただき、勉強になりました。里山を保全する意味を改めて話し合うきっかけになりました」と話しました。



岐阜スカイウイング37に、サテライトキャンパスを開所

平成24年10月1日(月)

JR岐阜駅北側に誕生した37階建ての高層ビル「岐阜スカイウイング37」。このビルの東棟4階に、岐阜大学の教育・研究活動、学生活動、地域貢献、そして、情報発信の拠点となる「サテライトキャンパス」を開所しました。多目的講義室やミーティングルーム、こころの相談室などを完備し、学生や地域の高校生、一般社会人の方に向けた講座や、産官学連携などに関する企業相談、臨床心理士による一般の方向けの有料カウンセリングなどを行っていきます。また、キャンパスはネットワーク大学コンソーシアム岐阜

(岐阜県内の大学と短期大学、大学院大学、高等専門学校等の22校と岐阜県で組織する連合体)に加盟する教育機関の活動拠点にもなっています。

10月9日(火)に行われた開所式では、森秀樹学長が「サテライトキャンパスを活用して人材養成や社会貢献を行いたい」とあいさつしました。



第32・33回 岐阜大学フォーラムを 開催しました

平成24年6月1日(金)・10月25日(木)

一流の研究者たちによる講演会「岐阜大学フォーラム」。第32回が6月1日(金)に、京都大学大学院農学研究科教授の植田和光氏を招いて開かれました。植田氏は健康を守るトランスポーター、ABC蛋白質の機能を中心に、最先端の研究について解説されました。

10月25日(木)には第33回が開催され、松下政経塾で政治家を育てる仕事に携わってきた「志ネットワーク」代表の上甲晃氏を招きました。松下幸之助氏や自身のエピソードを交えながら、人間力を高めることについて、また人生の難局での考え方などについて語られました。

「ぎふ清流大会」で大学職員が 銀メダルを獲得!

平成24年10月13日(土)～15日(月)

第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」において、岐阜大学職員の服部俊久さんがアーチェリーで見事、銀メダルに輝きました。

服部さんは「リカーブ」という弓を使い、30m先の標的を2度射て競う試合に出場。森学長への報告会では「当日はあまり風もなく、競技に最適でした。良い緊張感の中、いつものペースで挑めました」と話しました。



オープンキャンパス2012

平成24年8月7日(火)～9日(木)

8月7日(火)から9日(木)の3日間にわたって「オープンキャンパス」を開催しました。猛暑にも関わらず、5,461人の高校生やその保護者が大学を訪れ、盛況のうちに終了しました。

各学部では学科(課程)の紹介、模擬講義、体験実習、施設見学や入試説明などを実施し、特色を紹介しました。そのほか、プログラムを短縮したプチ・オープンキャンパスや、在学生によるキャンパスツアー・トークンコーナー・岐大クイズラリー、教職員と在学生への質問コーナーなども開催。たくさんの方々にご参加いただき、最先端の研究やキャンパスライフに触れていただく機会となりました。ご来場いただき、ありがとうございました。



岐阜大学と鳥取大学が共同獣医学科の設立 に関する協定書を締結

平成24年8月9日(木)

岐阜大学と鳥取大学は、両大学長出席のもと「国立大学法人岐阜大学及び国立大学法人鳥取大学が設置する共同獣医学科に関する協定書」を締結しました。協定の内容には、名称を「岐阜大学応用生物科学部・鳥取大学農学部共同獣医学科」とし平成25年4月に設置すること、両大学の教育資源を活用し、獣医学教育の高度化や拠点形成を図り、グローバル・多様化した獣医学を担う実践的対応能力と国際通用性を備えた獣医師を養成すること、学位は両大学の連名で授与することなどが盛り込まれました。



創立63周年の記念日行事を開催

平成24年6月1日(金)

岐阜大学の創立63周年を記念して、教職員や学生等約400名が出席し、講堂において記念日行事を開催しました。森秀樹学長は「岐阜大学の現状」と題して、複合材料研究センターの新設や研究部門の活動、岐阜駅前のサテライトキャンパスの開所、工学部の施設改修などについて述べ、全力で取り組んでいく決意を示しました。また、名誉教授の称号授与や記念講演、管弦楽団による演奏、コーラスクラブによる愛唱歌の合唱なども行われました。



岐阜大学の環境に関する取り組みをまとめ、 公開しています

平成24年8月21日(火)

「岐阜大学環境方針」に基づき、環境に配慮した大学を創り出すとともに、環境を担う優れた人材育成に努めている岐阜大学。平成21年には「環境ユニバーシティ」を宣言しました。この度、近年の環境に関する大学の取り組みをまとめたパンフレットを作成し、環境に配慮した大学づくりに参加するサークル活動や、環境に関する研究、環境月間の実施などを紹介しています。ホームページにて公開していますので、ぜひ一度ご覧ください。

「環境への取り組み」

<http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=1322#hokokusyo>

東海地区国立大学体育大会で 男女ともに総合2位!

平成24年6月2日(土)～7月29日(日)

東海地区(愛知・岐阜・三重・静岡)の8つの国立大学が参加し、陸上・水泳などの20種目を競い合う「東海地区国立大学体育大会」。毎年、岐阜大学からも600名近い学生たちが選手として参加しています。第61回の今大会では、男子は水泳・バレーボール・ハンドボール・剣道で、女子は硬式テニス・バレーボール・卓球・ハンドボールで見事優勝。総合順位は男女ともに2位という好成績を収めました。秋には「東海地区国立大学文化祭」が開催され、美術・音楽・演劇の各サークルが参加し、日頃の活動の成果を披露し合います。